

2015年1月期8月度 月次業績動向（2014年7月21日～2014年8月20日）
会社名 ピープル株式会社

(http://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 桐渕千鶴子

上場取引所: 東証JASDAQ

コード: 7865

TEL: 03-3862-2768

問合せ先: IR担当 飛田留美子

科目	《月次の対比》			《期初からの累積の対比》			《過去12ヵ月累積期間の対比》		
	2014年1月期 8月度	2015年1月期 8月度	前年 同月比	13/1/21～ 13/8/20	14/1/21～ 14/8/20	前年 同期間比	12/8/21～ 13/8/20	13/8/21～ 14/8/20	前年 同期間比
売上高	256,730	232,571	90.6%	1,634,134	1,726,035	105.6%	3,116,588	3,352,173	107.6%
営業利益	17,514	12,187	69.6%	△ 52,136	77,003	N/A	114,705	253,736	221.2%
経常利益	△12,085	24,436	N/A	△ 15,363	83,735	N/A	153,481	297,167	193.6%
税引前利益	△12,085	24,437	N/A	△ 15,363	83,726	N/A	153,478	297,151	193.6%
流動資産	1,849,610	1,921,107	103.9%	【2015年1月期第3四半期会計期間 (2014/7/21～2014/10/20) 業績予想】 (2014年9月2日発表) ・売上高: 8億13百万円 (前年同期間比7.4%減) ・営業利益: 40百万円(同比49.0%減) ・経常利益: 46百万円(同比26.7%減)			【2015年1月期第3四半期累計期間 (2014/1/21～2014/10/20) 業績予想】 (2014年9月2日発表) ・売上高: 23億6百万円 (前年同期間比2.3%増) ・営業利益: 1億5百万円(同比1166.1%増) ・経常利益: 1億5百万円(同比77.0%増)		
固定資産	160,752	199,179	123.9%						
流動負債	233,525	258,966	110.9%						
固定負債	50,000	50,000	100.0%						
純資産	1,726,836	1,811,321	104.9%						
総資産	2,010,362	2,120,287	105.5%						

商品別売上高

商品カテゴリー名	2014年1月期 8月度	2015年1月期 8月度	当月 構成比	13/1/21～ 13/8/20	14/1/21～ 14/8/20	当期間 構成比	12/8/21～ 13/8/20	13/8/21～ 14/8/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	94,837	92,526	39.8%	532,171	575,450	33.3%	1,123,856	1,139,386	34.0%
女兒玩具	45,163	38,330	16.5%	268,327	311,333	18.0%	617,145	695,193	20.7%
遊具・乗り物	27,890	39,126	16.8%	306,986	284,876	16.5%	581,926	524,190	15.6%
その他	88,839	62,588	26.9%	526,650	554,376	32.2%	793,661	993,405	29.7%
合計	256,730	232,571	100.0%	1,634,134	1,726,035	100.0%	3,116,588	3,352,173	100.0%

8月度新発売商品

商品カテゴリー名	商品名	発売日	標準小売価格(税別)
遊具・乗り物	「ラクショールライダー レッドメタリック」	2014年8月6日	¥19,800

当38期第3四半期予想でご報告の通り、当期は米国向け輸出販売の出荷タイミングが上半期に寄った事から、当8月度では主に海外販売の調整期間となり、売上高は2億33百万円9.4%減となりました。

国内販売では、既存品の値上げ等を含むリニューアル発売キャンペーンを上半期に集中出荷しているため、お盆商戦直前の発売品があった前年同8月単月比では若干下回りますが、当期累積では乳児・知育玩具、女兒玩具、共に前年を大きく越えて堅調に推移しています。

反対に、遊具・乗り物カテゴリーでは、大手販売先に「いきなり自転車」のまとまった出荷があった当8月度は単月で押し上げていますが、当期累積では依然厳しい状況が続いています。厳しい環境下でも、前年度の新製品「ラクショールライダー」(税別¥19,800)が、取扱い店舗は小規模ながらも好調で、既存色ピンクメタリックカラーから新色レッドメタリックへ当月リニューアルし、さらに上昇を目指し新しいニーズ掘り起しを推進中です。